

# リソースルーム 日本語教室訪問記

## 明治学区日本語しゃべろう会

今回は明治学区日本語しゃべろう会に訪問してきました！（2023年8月26日）  
最近メディアでもよく目にする教室ですが、その特色をお伝えします♪



明治学区 日本語しゃべろう会  
って、どんなところ？

### 開催日時

毎週土曜日 AM10:00～12:00

### 場所

明治コミュニティーセンター  
(〒457-0861  
名古屋市南区明治2丁目14-1)



## 基本情報

### ★クラス編成と学習者

「子どもクラス」と「母子クラス」の2クラスで学習者は計35名。取材当日現在、定員いっぱい、15人待ちの人気の教室です。

### ★学習方法

「子どもクラス」は、学習進度別に数人ずつのグループに分かれ、学習進度に合わせて教材を用意しボランティアがつきます。

「母子クラス」では、お母さんたちは日本語の勉強と、母国語での情報交換をします。お母さんたちのそばに玩具やマットが用意され、ボランティアが子どもたちの面倒をみます。

### ★ボランティア

30人ほどの登録があります。子どもクラスのボランティアは教員経験者・大学生の協力を頂き地域の一般の協力者が交代で勉強のお手伝いをしています。母子クラスでは、お母さんたちと日本語で話すボランティアの他に、小さい子どもたちのお世話をする人たちもいます。

## 教室の特色

### ★学区が主催

明治学区連絡協議会が会を主宰していますが、開設や運営には、社会福祉協議会、教育機関、名古屋市、愛知県警など地域が総出で関わっています。

### ★日本語教室というよりは？

日本語を学ぶ会ではありませんが、来る人それぞれが抱える問題やニーズに、地域をあげて応えようと努めています。

地域の人たちと交流する「居場所」です。

### ★子どもの問題に向き合う

子どもたちの親や学校と密に連携して、学校生活や日本語、進学の問題に向き合っています。

子育て中のお母さんたちを支え、乳幼児期から地域ぐるみで育てます。

### ★学習者の経費負担なし

地域の予算や補助金で運営しているので、学習者の金銭的負担はありません。

## 喜多村会長、村井副会長のお話

- ★日本に来て、この地域に住んで、良かったと思ってほしい。
- ★困っているから頼ってくるのだから、どんなことにも応える。応える能力のある人を見つける。
- ★お金がなくてもやんなあかん。
- ★日本語力をつけるというよりも、地域の人たちと交流することが大切。
- ★親身になろうという積み重ねで今がある。最初から外国人排除の空気はなかった。



## ボランティア・ウプレティさんのお話

- ★子どもたち全員と親、学校と常に連携、連絡を取りあっている。
- ★まずは学校生活で困らないようにサポートする。
- ★進学など難しい相談に対しては、親へのアドバイスや学校への橋渡しもする
- ★母語喪失で親子の会話ができなくなるケースやダブルリミテッドについて深刻に考えている。母語教室を作る必要性を感じている。



## ◆取材したリソースボランティアのまとめ

日本語を学ぶ教室というよりは、地域の人たちと寄り添い共生する古き良き長屋のような雰囲気でした。ボランティアの人たちは、「ボランティア」というよりは、「親切なご近所さん」と呼ぶほうがしっくりきます。しかし、ただ親切なだけではなく、一人一人の問題について、地域をあげて解決しようと、ネットワーク力を駆使して、力を尽くされている姿に感銘を受けました。在留外国人だけではなく、3つの老人会のサークル、日本人母子のサークルもとても活発に活動しており、新聞で「スーパー学区」と紹介されたわけがありました。地域のあり方として、学ぶところがたくさんありました。



## ▼県内日本語教室一覧表を作成しています！

(公財)愛知県国際交流協会では、毎年県内日本語教室一覧表を作成しています。一覧表に加え、教室を簡単に検索できる、日本語教室検索ページも設けています。

あいち国際プラザにほんご教室以外にも、多数の教室情報を掲載していますので、ぜひご覧ください！

<https://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/resource/class/classtop.html>

今回、快く訪問を引き受けてくださった**明治学区日本語しゃべろう会**の皆さん、ありがとうございました！

